

○ボタン付き「なりきりめがね」を利用した観察記録の指導

- 文字に不慣れな時期（6月）の1年生児童に、観察の観点を理解させるための支援
- 観察記録を書く意欲を持たせるための支援
- 観察した内容が、観点到に沿っていたか自己評価・相互評価しやすくするための支援

【なぜ、この支援が有効になるのか】

それまで話し言葉中心の生活を送っていた1年生の児童が観察記録を書く際に、観察の観点を理解しやすくなります。また、めがねをかけて観察名人になりきることで、観察したいという意欲にもつながります。さらに、観点到に沿った観察記録を書くことができたかどうかを自己評価・ペアでの相互評価しやすくなります。

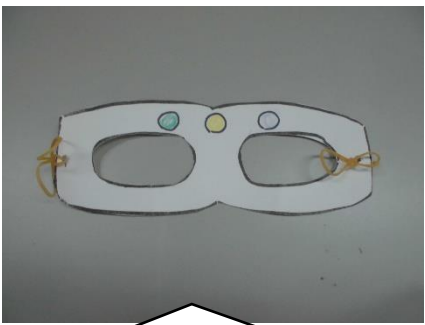
〈支援・指導の実践例〉 1年生 国語 「おおきくなった」での実践

1. 色つきボタン付き「なりきりめがね」の作成と観点的の選択

色分けした観察の観点的の中から、3観点的選ばせ、なりきりめがねのボタンに色を塗らせる。



**観点的の観点的を選ぶ**  
 太さ：橙色 色：緑  
 触った感じ：黄緑  
 形：青 におい：赤  
 大きさ：黄色 数：水色  
 高さ：ピンク



**ボタンに色を塗る**  
 めがねの上部にボタンが3つ。自分が選んだ観点的を示した色をぬる

2. 記録カードの記入

観点到に沿って記録する。記録の仕方は、メモまたは文とする。



**記録カードの記入**  
 観点到に沿って記入。

3. シールを使ったふりかえり

シールを貼って、はじめに決めた観点的通りにメモまたは文を書くことができたかを個人やペアで振り返る。

めがねのボタンと同じ色のシールを貼ることができたかな。貼ることができていたら、決めた観点的通りに観察記録を書くことができたということだね。

